

海洋センターを活用した  
学習と体験活動による子育て支援事業  
『BG 塾』

2019 年度 事業報告書

2020 年 3 月  
B&G 財団 企画課

## 【背景・目的】

共働き世帯やひとり親家庭の増加により、夏休みや冬休みなどの長期休暇中は、子供がひとり、家で過ごす時間が増える状況にある。当財団の実施したアンケート調査でも、49%の子供が、夏休みに一人で食事することがあると回答しており、2人に一人の子供が、孤食を経験している。さらに、4人に一人の子供が夏休みにあまり友達と遊ばないと答えるなど、夏休みを一人で過ごす子供たちが確実に増加している。

そこで、学校では経験できない多様な体験機会である長期休暇中に、学校や教育委員会、ボランティア等が連携し、学習と体験活動が両立する居場所をつくり、長期休暇中の子育て支援を目的とする。

## 【事業内容】

実施内容：海レク体験や学習サポートを行う教室の実施

実施期間：2019年7月～2020年3月

実施場所：海洋センター等

対象：小学1～6年生

実施センター：60ヵ所（新規30・継続30）

参加人数：小学生延べ6,336人

サポーター数：427人

## 【内容詳細】

### ①多様なプログラムの実施

財団からの活動支援金を活用し、海レクやスポーツに留まらず郷土学習や料理教室等、地域の特色を活かした様々なプログラムを実施した。

### ●プログラム例



学習支援



運動・スポーツ  
(スラックライン)



海レク体験



防災学習（救命講習）



料理体験



職場見学（自衛隊）



自由研究（版画体験）



自然体験（神社で生物探し）



レクリエーション（フラダンス）



郷土学習（和紙すき体験）



教科学習（防災教室）



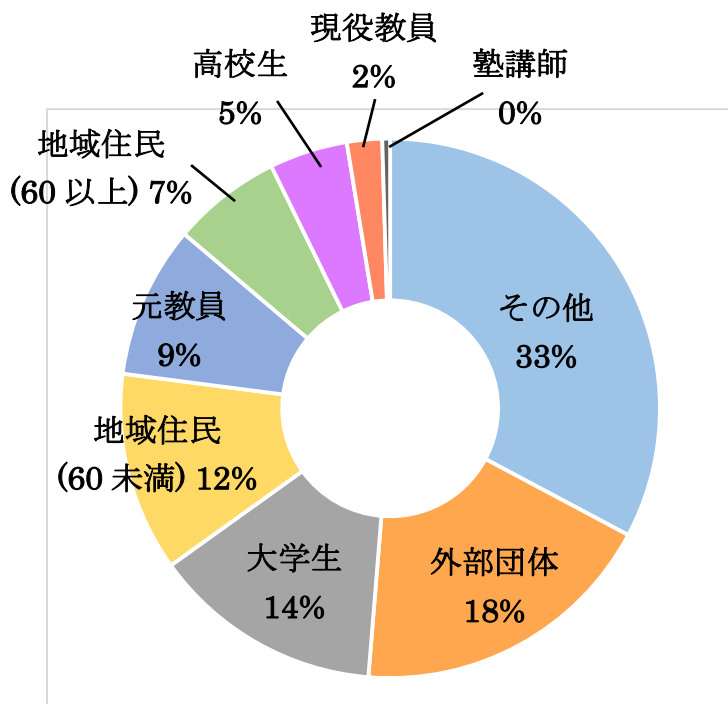
その他（国際ワークキャンプ  
団体との交流）

## ②幅広いサポーターの参画

センター職員やBG指導者だけでなく、教員OBや学生、総合型スポーツクラブ、自治体の他部署、地元企業など組織の垣根を超えた、様々な人材に協力してもらうことができ、地域全体で子供を育てる意識の醸成につながった。

### ●サポーターの属性について

センターにアンケートを実施したところ、全サポーター数は427人となり、属性は以下の結果となった。（図1）



※その他：自治体職員（センター含む）、BG指導者など  
 ※外部団体：総合型地域スポーツクラブ、同好会、学童クラブ職員、水泳協会など

図1. BG塾サポーターの内訳 割合

### ③HPでの周知

担当者へのヒアリングから、どのようなプログラムを実施すればいいのかわからない、他センターの事例を周知してほしいとの声が多数あったため、財団HPでジャンルごとにプログラムを紹介するページを作成し、情報公開を行った。各プログラムで子供たちの反応やサポーターの属性も記載し、次年度以降の円滑な立案・策定の一助となるようにした。

ジャンル：郷土学習/防災学習/職業体験/料理体験/運動・スポーツ/レクリエーション/自然体験  
 教科学習/自由研究（理科・図工）/その他の全10種類

| 8 | 救命講習 | 【内容】<br>心肺蘇生とAEDを用いた救命救急体験を実施しました。 | ■北海道長万部町<br>■大分県豊後高田市真玉<br>■愛媛県松山市中島 | ●防災学習 |
|---|------|------------------------------------|--------------------------------------|-------|
|   |      | 【講師・サポーター】<br>防災担当の職員              |                                      |       |

④参加者について

●小学1年生～6年生、一部では中学生も含めて延べ6,336人が参加した。参加者にアンケートを取ったところ、学年や性別に関しては以下のグラフの通り。(図2.3)

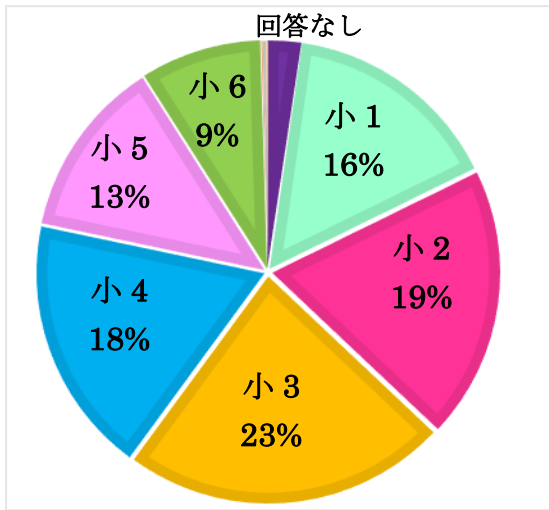


図2. 参加者の学年 割合

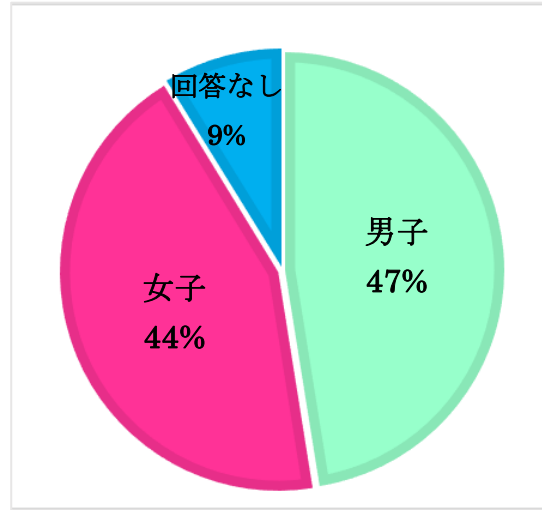


図3. 参加者の性別 割合

●長期休暇中の過ごし方に関する設問に対しては、以下の結果となった。(図4～11)

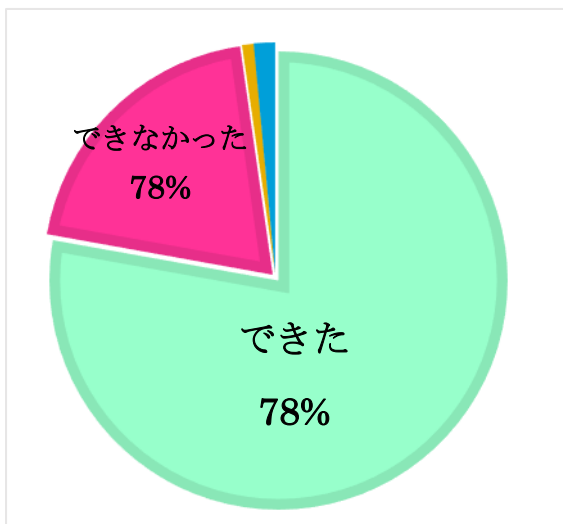


図4. 昨年の夏休みと比べて、早寝早起きの正しい生活が送れたか？

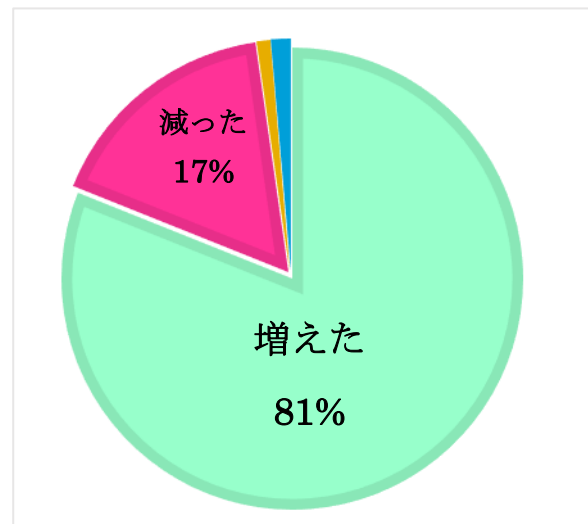


図5. 昨年の夏休みと比べて、友達と遊ぶ回数の変化はどうか



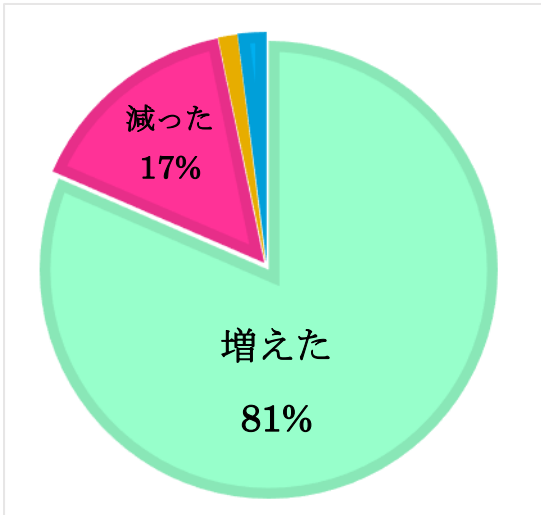


図 6. 昨年の夏休みと比べて、勉強する時間の変化はどうか

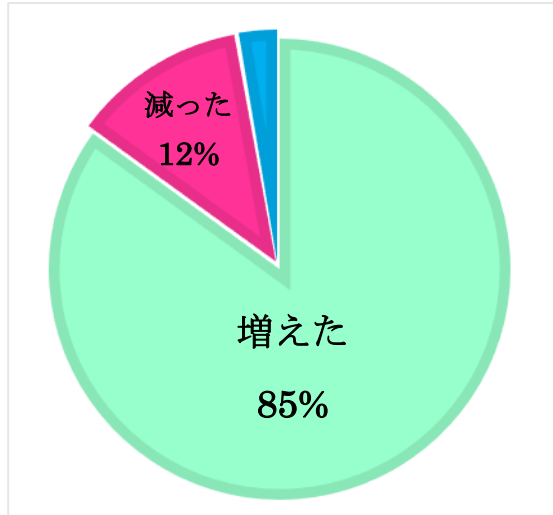


図 7. 昨年の夏休みと比べて、初めて体験したことは増えたか

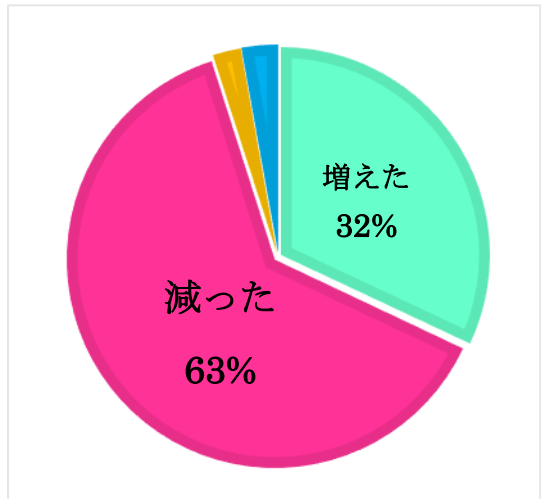


図 8. 昨年の夏休みと比べて、1人での時間の変化はどうか

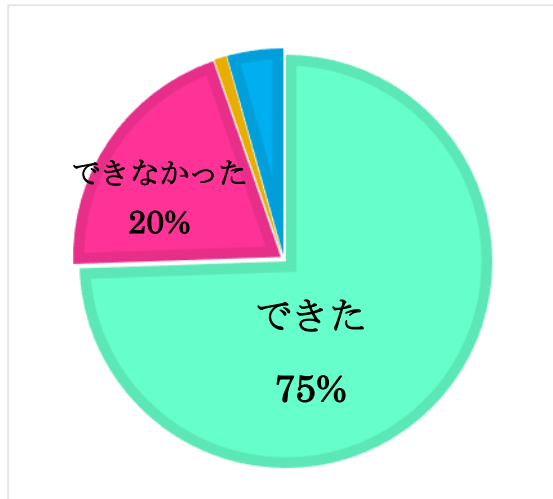


図 9. 昨年の夏休みと比べて、夏休みの宿題を計画的に行えたか

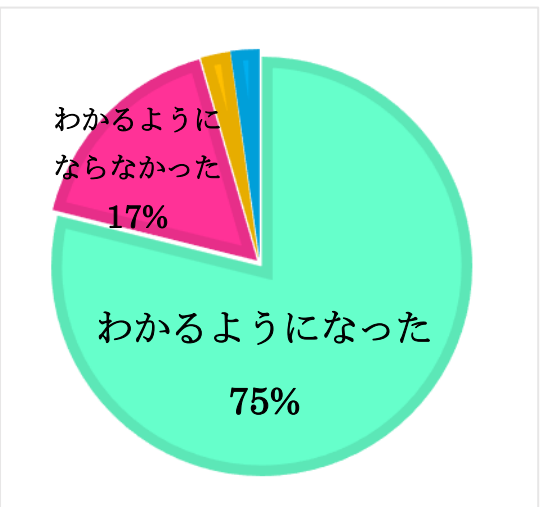


図 10. 昨年の夏休みと比べて、勉強で難しいことはわかるようになったか

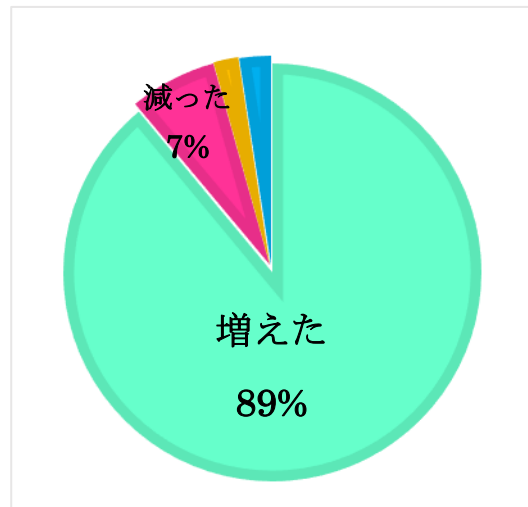
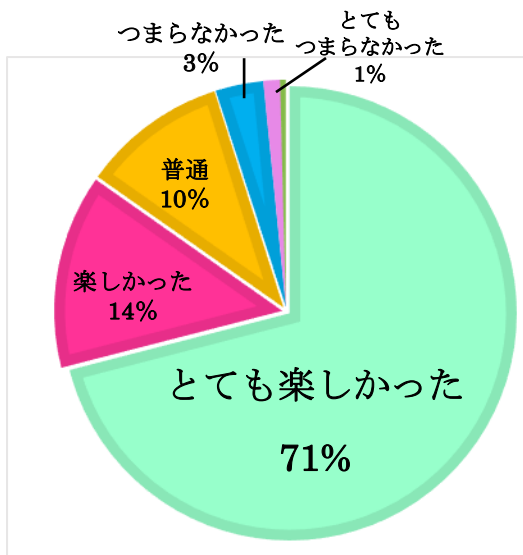


図 11. 昨年の夏休みと比べて、好きなものは増えたか



【参加者の感想】

- ・他の学校の友達を作って仲良くなれた。集団で生活することで、みんなと協力して取り組むことの大切さを知った。次回も参加したい。
- ・「勉強！勉強！」と家では言われるけど、BG塾では勉強の時間がきちっと決まっていて計画的に進められたのでよかった。
- ・新しい経験をしたり、勉強したり、友達が増えたりと、たくさん楽しい思い出がくれた。
- ・バナナボートは最初怖かったけど乗れて嬉しかったし、新しい友達が出来たので良かった。

図 11. BG塾は楽しかったか (5段階評価)

⇒参加者満足度 85%

⑤保護者の反応について

- 当事業参加者の、一部保護者にアンケートをとったところ、長期休暇中の子育てに関する設問等に対して以下の結果となった。(図 12～11)

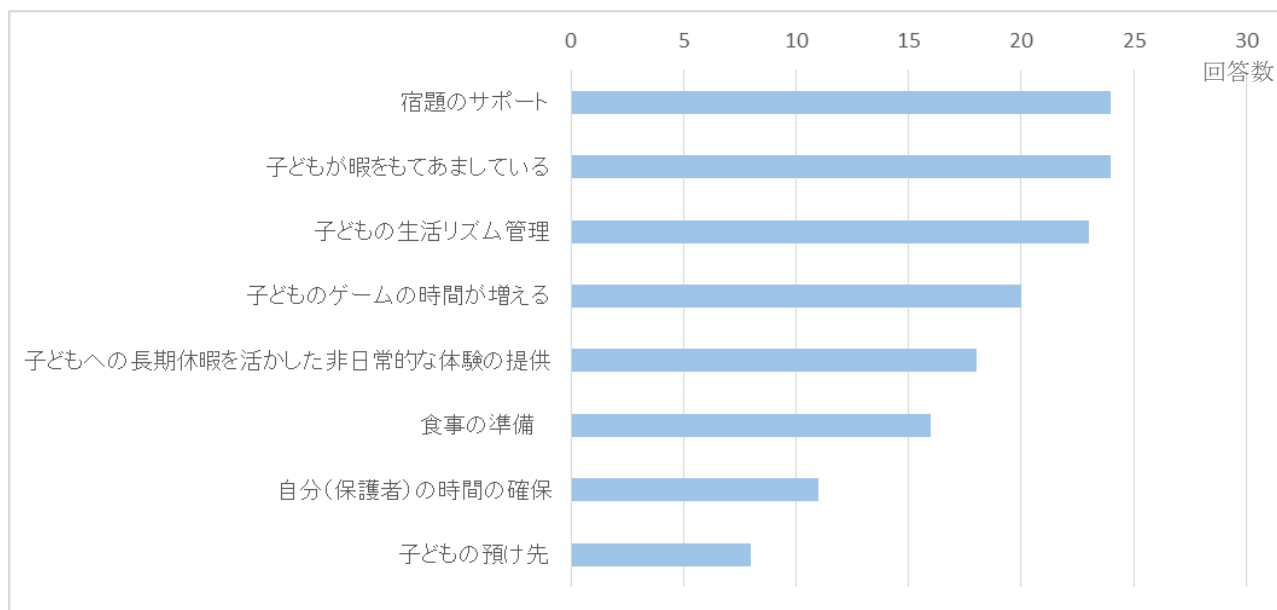


図 12. 子どもが学校に行かない長期休暇期間中に困ること

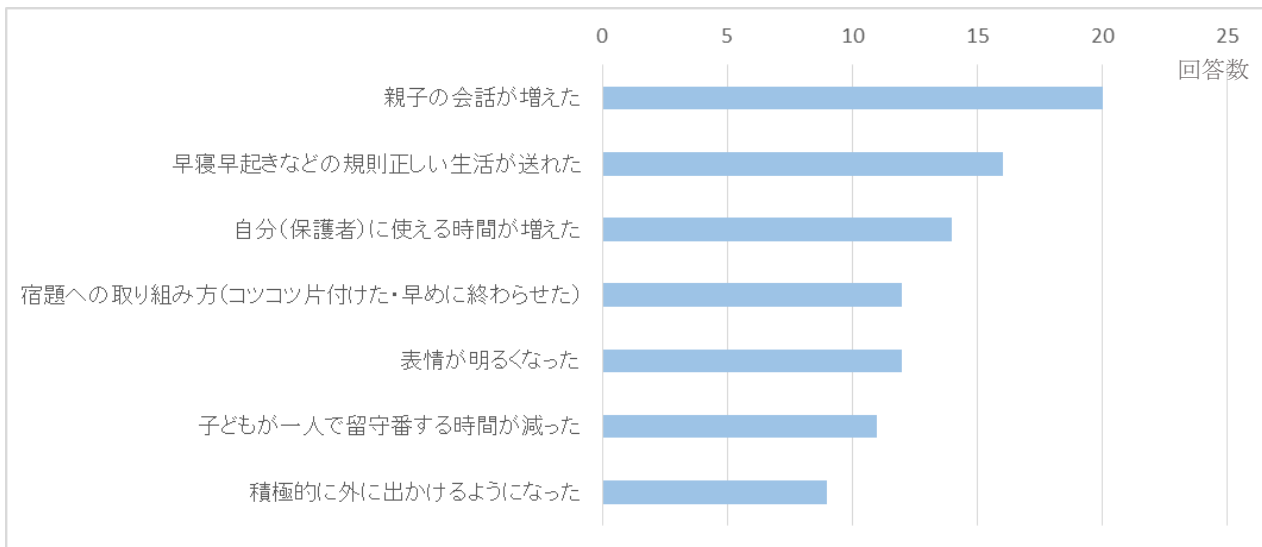
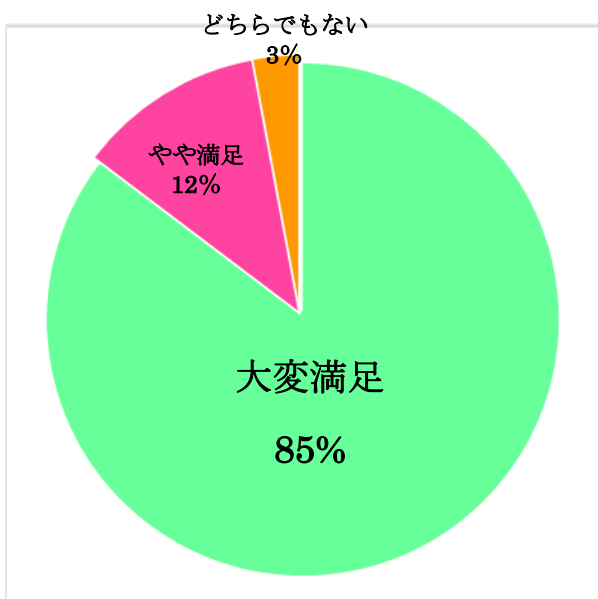


図 13. BG 塾があった日となかった日の、子どもとその保護者の変化

【子どもと保護者のエピソード】

- ・姉が骨折のため BG 塾を休むことになっても、1人で BG 塾に行きたいといったことにはびっくりした。それほど楽しい体験だったのだと思う。(兄弟で参加)
- ・同年代の子だけでなく、年上の子、またいつものお友達とは違う友達ができてとても嬉しそうだった。帰ってくると楽しそうに話をしてくれた。
- ・BG 塾期間中、普段は寝るのが遅いのに、明日のために早く寝よう！と言いながら布団に入っていた。
- ・水泳のコーチとプール以外で色々な体験ができたことが楽しかったよう。帰ってきて第一声「めちゃめちゃ楽しかった！」と。達成感を感じられる体験もできたようで、少し自分に自信をつけたように思う。



【保護者の感想】

- ・親としては大変うれしい企画だった。共働きのため、1日預かってもらえて助かった。子どもは楽しくて仕方がない様子で、体験したことを色々教えてくれた。
- ・長期休みはどうしても子どもを怒ることが増え、顔のしわも増えるかと思う毎日。家ではできないような体験を沢山させてもらい、子どもも楽しい、大人もありがたいので利用者にとっては winwin です。
- ・どうしても1日の時間の使い方が難しくついだらだらと過ごしがちだが、BG 塾の期間中は楽しみつつ宿題も進められたので親子ともどもありがたかった。
- ・普段なかなかゆっくり一緒に過ごすことのない他校の友達とたっぷり過ごせたことも子どもたちは楽しかったよう。次回もあれば参加させたい。

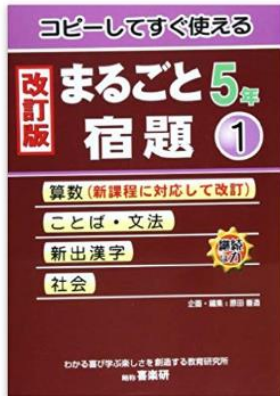
図 14. 総合的な満足度 (5 段階評価)

⇒保護者満足度 97%



## ⑥学習教材の配布について

昨年度、「学習時間における宿題が終わった子どもへの対応」を運営上の課題としているセンターが多かった。そのため今年度は学習ドリルを希望するセンターに提供することで、学習時間のさらなる充実を図ることができた。



配布した学習ドリル

### 【センター担当者の声】

- ・持参した宿題を早々に終わらせた子どもが暇を持て余すことなく、勉強に取り組んでくれた。
- ・学年が異なるドリルをして復習にも活用することができた。
- ・宿題の時間では、取り組み内容が個々で違うためスタッフの数が必要になるが、ドリルを活用することで子どもたちが自主的に学習することができた。
- ・集中できない子がドリルを使ったことでかなり改善された